



S



**PTR HONDA**

**Hikaru okubo 大久保 光**

**World Supersport Championship**

**round - 2 SPAIN August .1-2**

**予選9番手 レース1リタイヤ レース2リタイヤ**



スーパースポーツ世界選手権（WSS）は、新型コロナウイルスの感染拡大で、開幕戦のオーストラリア大会後、なかなかスケジュールが決まらず、大久保は帰国し、自粛期間は、自宅でのトレーニングを行い、自粛が明けてからは、屋外のトレーニングを再開、バイクに乗り始めず。いつ再開されてもいいように体調を整える日々を過ごします。そして、約5ヶ月ぶりに第2戦がスペインヘルスでの開催が決まります。これ以降、WSSは、2レース制となりました。

久しぶりの走行ですが、大久保は、すぐに感覚を掴み、予選9番手となります。レース1では、5番手争いを展開、追いつけている最中にエンジンがオーバーヒートしてリタイヤとなってしまいます。チームメイトも同様のトラブル発生でした。

レース2では、上位進出を狙いましたが、またしてもトラブルが襲います。レース序盤の2ラップ目にフロントブレーキが効きにくくなります。ブレーキ調整が出来ずにオーバースピードでコーナー進入し、フロントが切れ込み転倒、そのまま、病院に運ばれてしまいました。現在は、退院して、大きなケガはありませんが、2レース共リタイヤとなり、ノーポイントとなってしまったことが悔やまれます。ですが、残りレースも2レース開催で、まだ、挽回のチャンスは残されています。

#### 大久保光

「レース再開を待ちながら時間を過ごしていました。レーススケジュールが発表され、準備を整えてスペインに向かいました。出国に関しては、特別なことはなく、スムーズに出発出来ました。スペイン入国は、いつもよりは、提出書類が多かったですが、こちらもスムーズで、問題なくサーキット入り出来ました。レースは、どちらもリタイヤ。おまけに病院に行くという残念な結果に終わってしまいました。ですが、大きなケガもなく、次のレースに参戦出来ます。次戦ではトラブルなく、最後まで走り切ることが出来るように挑みたいと思っています。いい報告が出来るように最善を尽くします」

※次回は、8月29日~30日開催の第3戦アラゴンの報告をさせていただきます。